

# 私の出会った人たち

(5)

関谷啓子

(前回の続き 2018春から抜粋)

3・07

訪問時は、お風呂上がりでゆったりと目を閉じておられました。おやつと夕食はどちらも完食。前回の訪問時にカットをお願いしていたのですが未だでした。次週には息子さんが面会に来られるとの事。それまでにはスッキリとしたご様子になっていて欲しいのです・・・と施設に再度お願いして戻りました。

3・18

お元気でした。おやつもばくばくと完食です。国語の教科書が手に入りましたので持参。三好達治の詩を読んだら反応がありました。昔、高校の国語の先生だったとの話を思い出しました。猫の話にも声を立てて笑ってくださいました。ゆっくりですが、時々昔の確かな記憶と今が結びつく時があるような気がします。不思議な感覚を共有しているような・・・。Mさんに出逢わなければ味わうことの無い感覚です。

4・04

今日も変わりなく過ごしておられました。おやつも完食ですが、両手で顔を覆われて、食べて頂くのに一苦勞でした。口もほんの僅かしか開かれませんが、タイミングが合わないと進みません。日によって顔を覆われるという動作は、何かの意思表示の形かと考えましたが解らずじまい。もしかして、部屋が眩しいと感じておられるのかも・・・。

4・08

今日のおやつはカステラです。美味しそうにゴクンゼリーと交互に召し上がりました。見ていると気持ちよくなるような食べっぷり！こんなに調子のよい日もあるのですよ。思わず見とれてしまいました。

薄ピンクのバラを持っていきましたが少々寂しすぎました。次回はパーと派手な色にしようと思って帰りました。

4・17

部屋に入った瞬間、広くなったような感じを受けました。よくよく観察したら床を張り替えたのとベッドサイドに置いてあった整理ダンスの向きを変えてあったのでした。

これだけの事でこんなに広く感じるとは！と驚くと同時に、我が家のゴタゴタしたリビングを思い出しました。

この週末にはなんとかしなくてはなりません。

Mさんはお元気です。今日は春らしいおまんじゅうを二種類持って行きました。ご自分では無理ですが、こちらで小さく切って口元まで運ぶと食べる事ができます。こし餡は特にお気に召したようでした。

今日は洗濯を二回しました。ちょっとお身体の調子が悪かったのかもしれませんが。入浴もかなり時間がかかりました。

心配して待ちましたが、スタッフからの報告は特にありませんでした。

4・28

今日も目は閉じたままでした。いつもは「おやつですよ」との声かけで、目はともかく、口を開かれることが多いのですが

今日は何故か？なかなか口を開かれません。

車いすに座っておられたので、ご自身の手に握らせてみました。こしあんを挟んだ蒸菓子でしたがゆっくりと自分で口に運んで食べる事ができました。持参するおやつは出来るだけご自身で持って食べられるような物を選ぶように

心がけています。今までのベスト3はバウムクーヘン、蒸菓子、チョコ味のクロワッサンです。

部屋に飾られた赤い実を見ていると元気が出ます。

5・15

GWに行けなかったので、久しぶりの訪問でした。

天気が良くて、今日はちょうど葵祭でしたが、行列に参加のアルバイトの学生さん、大変な暑さで可愛そうなほどでした。

行けない間に4月30日の誕生日を迎えられMさん、めでたく95歳になりました。

ベッドの上に、その日の写真が飾ってありましたが、まるで童女みたいな笑顔です。

「Mさん、95歳になったんですね。おめでとう」って言ったら「あら そうなの。ふーん。」との返事。

思わず笑ってしまいました。時々、こんな風に通じているのかどうか判らないけれどユーモアに溢れた返事をされて嬉しいです。穏やかに歳を重ねていかれるのに伴走できるのは嬉しい事です。

持参した山法師の花が綺麗でした。秋になって赤い実がなったら、おやつに持って来ようと思っています。

食べられるって知らないひとがいるのはもったいない事ですから！